

## 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立仰木中学校

### ○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 【結果について】

学力調査では、3教科とも正答率が5～9%全国平均を上回ったが、学習への関心が1～3%低い結果となった。学習内容は理解しているが、「学習は大切か」と「学習は好きか」の質問で結果に差があり、学習は大切であるが、自ら学ぼうとする意欲・関心が低い結果となった。

生徒質問用紙調査では、「自分には良いところがある」「友人関係に満足」「学校が楽しい」などは肯定的な意見が80%を超えていたが、「いじめはどんな理由があってもいけない」と答える生徒は70%以上いるが、全国平均より10%低い結果となり、規範意識や道徳心に課題が見られる。

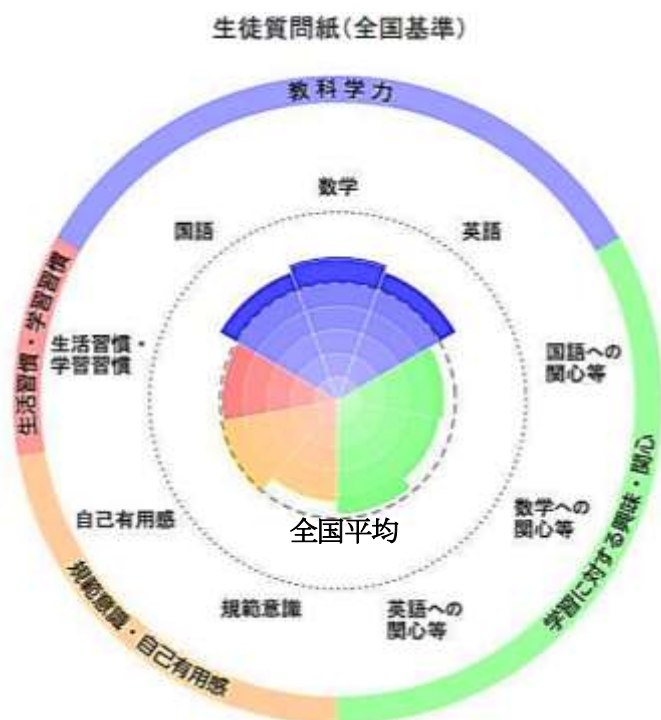
#### 【強み】

- 国)** 短答問題に強く、言葉の意味や漢字、古典に関する知識・技能は身につけている。
- 数)** 知識・技能を問う問題はしっかり定着している。特に計算問題では、丁寧に解を求めることができおり、計算力がある。
- 英)** 無回答率が少なく、それが正解率の高さにつながっている。絵を見て答えるリスニングは全国平均を大きく上回った。

#### 【弱み】

- 国)** 内容を解釈し、人の考えが伝わるように根拠を明確にしながら表現する力に課題がある。
- 数)** 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つことがらを見出し、説明することに課題がある。
- 英)** 自身の意見を持ち、書くことが難しい。また、問題を解くうえでの背景知識が乏しい。

### 【指導の充実に向けて】



- 国)** 記述問題、作文等の書くことへの抵抗感を軽減するために iPad を活用し、意欲的に取り組めるような課題提供を増やす。  
文章の読解をしたり、自分の考えを書いたりするときに、根拠を明確にすることを習慣化していく。
- 数)** 事象が成り立つことの原因を考え、表現させる機会を多く設定する。
- 英)** 自身の身の回りのことや学校生活について、書いたり話したりの経験を積み重ねたい。
- 他)** 学習塾などの利用率は県平均・全国平均と変わりはないが、学習の定着はできている。将来の夢や目標などの自己実現に向けて学習に必要な性を感じながらも、学習への関心が低いので、生徒たちの「やる気スイッチ」を入れる取り組みを継続する。  
また、規範意識が低いので、公共の精神や思いやりの心の育成に向けて、人権教育や道徳教育の充実に努める。